



平成 19 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 サクラダ
代表者名 代表取締役社長 曾田 弘道
(コード番号 5917 東証第1部)
問合せ先 執行役員 足立 薫彦
経理担当部長
(TEL. 047 - 328 - 3145)

中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年9月28日の「(訂正・数値データ訂正あり)「当社及び連結子会社の減損処理に伴う業績予想の修正に関するお知らせ」の一部訂正について」にて公表いたしました平成20年3月期中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成20年 3月期中間期(連結・個別)業績予想数値の修正(平成19年4月1日 ~ 平成19年9月30日)

(1)連結

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成19年9月28日発表)	4,260	30	250	2,168
今回修正予想(B)	3,660	155	290	2,210
増減額(B-A)	600	125	40	42
増減率	14.1%	-%	-%	-%
前期実績 (平成19年3月期中間期)	2,332	291	505	516

(2)個別

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成19年9月28日発表)	4,260	20	160	2,322
今回修正予想(B)	3,660	150	200	2,400
増減額(B-A)	600	130	40	78
増減率	14.1%	-%	-%	-%
前期実績 (平成19年3月期中間期)	2,332	286	372	382

2. 修正の理由

(連結)

個別業績予想の修正に伴い、連結業績予想の修正を行うものです。

(個別)

当社は当中間期におきましても鋭意受注活動に注力し順調に受注を確保してきておりますが、当業界に対する鋼材の供給が逼迫してきており、材料入荷の遅れが発生したこと等から生産の遅れが発生しております。また大型完成基準物件の完成時期が下期にずれ込んだこと、及び受注時期に若干の遅れが出たこと等から、売上高は6億円減少の36億6千万円となる見込みであります。

損益面につきましては、売上高の減少及び一部の大型物件の収益率が下落したこと等により、営業利益は1億3千万円悪化し1億5千万円の損失となる見込みであります。投資案件に係わる費用の発生が減少したこと等から、経常利益は2億円の損失となり4千万円の悪化、中間純利益は24億円の損失となり7千8百万円の悪化となる見込みであります。

3. 平成20年3月期通期(連結・個別)業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

平成19年9月28日に公表いたしました連結及び個別の業績予想の修正は行いません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上